

35th WORLD CONFERENCE 5-9 July 2014 Hong Kong

ガールスカウト日本連盟発行

ガールガイドミャンマー連盟（旧ビルマ連盟）正式承認!!

大阪府連盟が中心となってサポートしてきたガールガイドミャンマー連盟が、準加盟連盟として再承認されました。ほんとうにおめでとうございます！これまでサポートしていらした大阪府連盟のみなさんにも、心からお祝い申し上げます。



↑ 準加盟を承認されたミャンマー連盟のみなさん

← ミャンマー連盟のみなさんと大阪府・日本連盟の関係者



↑ クック諸島のみなさん

今回、AP 地域ではミャンマーの他、ガールガイドクック諸島連盟、ガールスカウトモンゴル連盟が正加盟連盟に。それ以外の地域では、ガールガイドギニア連盟、ガールガイドカメルーン連盟、ガールスカウトアルメニア連盟が正加盟連盟に承認され、世界連盟加盟国は 146 カ国になりました。



↑ ミャンマーの加盟を喜ぶ AP 地域の仲間たち

Dream Comes True!!

おめでとう！ミャンマーガールガイド、そして、ありがとう！夢の実現を

待ちに待ったこの瞬間がこんなに早く訪れるとは思っていませんでした。2000年からミャンマーに井戸を提供し続ける中、2007年より大阪府連盟（支部）はミャンマーの少女たちとの交流を通して、相互理解を深め、「私たちにできること」に取り組み、自立のための相互支援を目指して「ミャンマー・スタディツアー」を10ヶ年計画で実施してきました。その3年間の活動を認められ、2011年に世界連盟より日本で初めてのオレブ賞を受賞しました。そして、2012年1月2日には元ガールガイドであったアウンサンスーチーさんにお目にかかり、スカウトたちは親しくお話する機会をいただきました。その時、「いつかミャンマーにもう一度ガールガイドが出来ることを願っている」と話して下さり、一緒にスカウトソングを唄ったことが今でもはっきりと思い出されます。また、「あなた達、スカウトがミャンマーで制服を着て活動する様子をミャンマーの少女たちに見せることが意義のあること」だと私たちの活動を評価して下さいました。しかし、ミャンマーの国内情勢の中ではガイド復活は遠い道のりでした。まだまだと半ば諦めかけていた2012年の12月に突然ミャンマーからスカウト活動復活の動きがあるとの一報を受けました。2013年1月にAP（アジア太平洋地域委員会）と一緒にミャンマーの教育関係者の方々と話し合いを持ち、APによるリーダー養成のトレーニングが始まりました。乾いた大地が水を吸収するように、ミャンマーの方々のガールガイドに対する期待は大きく、熱心にガールガイドの基本から学ぼうとする姿に私たちの歩んできた道は間違っていなかったと確信しました。 大阪府連盟 新家 庸子/ 豊谷 久仁子/ 入澤 恵子

東京都第43団 OLAVE 賞受賞!!

東京都第43団は、2000年にネパールのサンクー・カトマンドウ地区にシュリ・サンクー小学校を建設し、その後引き続き教育支援に取り組んできたことが認められ、今回のOLAVE賞受賞になりました。また、震災支援を実施した埼玉県第21団は、残念ながらOLAVE賞は逃しましたが、オレブ賞候補認定書が世界会議で授与されました。



↑壇上の會田団委員長、日本連盟の関係者



↑OLAVE賞の賞状



↑右より AP 地域委員 Ms.Low、會田団委員長、花岡国際コミッショナー、浅野会長



→埼玉21団の賞状を受け取った浅野会長と青木青年代表

「オレブ賞を受賞して」

43団が発団30周年を迎えるにあたり、スカウト、リーダー、団委員と相談した結果、発展途上国への支援の案が出、義務教育制度のないネパールへ教育支援をすることになりました。

以後14年に渡り支援活動を続け、今回その活動を「オレブ賞」に挑戦いたしました。団が一丸となって継続してきて、多くのスカウトの成長を手助けできた事業が受賞に繋がればと、スカウトと共に心待ちにしていたところ決定のお知らせをいただきました。受賞に先立ち、日本連盟より「松賞」をいただき、さっそく集会で共に喜びました。

7月8日(火)第35回世界会議に招かれていたグループの一員として同席していた夕方17時30分頃、突然声がかかり、オレブ賞の授賞式が始まり、壇上にて浅野会長と共に世界連盟より「オレブ賞」をいただきました。大感激でした。直接いただけるとは思っていませんでしたので、この幸運に大感謝です。帰国して最初の集会、団委員会で香港大会での様子を報告し、継続してきたことの評価を受け、今後も一層の努力をする決意を新にしました。

東京都第43団 団委員長 會田佳恵

第35回世界会議では、110カ国から453名の出席者(含オブザーバー)がありました。投票は各国1票で、さまざまな議案に対する表決が行われました。

新理事会メンバー決定

第35回世界会議では、世界連盟の理事が14名の候補者の中から6名選出されました。新任理事の任期は6年です。(※今回選出された新任理事)

- 理事長 ニコラ・グリンステッド (イギリス)
- 副理事長 *ナターシャ・ヘンドリック (オーストラリア)
- 副理事長 *コニー・マツイ (アメリカ合衆国)
- 財政担当理事 フィオナ・ハーネット (ニュージーランド)
- 理事 ジル・ゼルマノヴィッツ (カナダ)
- 理事 和田照子 (日本)
- 理事 シャリーカ・アベイグナセケラ (スリランカ)
- 理事 ミシェル・フェブラリー (南アフリカ)
- 理事 *アナ・マリア・ミデロス (ペルー)
- 理事 *アネ・グヤス (スイス)
- 理事 *ハイファ・オウリル (チュニジア)
- 理事 *ナディーン・カゼ (ブルンジ)
- 西半球地域委員長 グレース・アン・クリシュロウ (バルバドス)
- アジア太平洋 (AP) 地域委員長 ロー・リー・ジェン (シンガポール)
- アラブ地域委員長 シャリファ・アル・ハラシ (オマーン)
- アフリカ地域委員長 ローズ・キオコ (ケニア)
- ヨーロッパ地域委員長 コリーナ・ハウリ (スイス)



↑ナターシャ・ヘンドリック新理事とともに

←スカーフを肩にかけてもらうコニー・マツイ新理事



→退任するナディーン理事長と、ニコラ新理事長

2015-17 年 WAGGGS の戦略キーワード“Connect・Grow・Impact”

前回の世界会議で採択された 2020 年のビジョン「すべての少女と若い女性が尊重され、世界を変えるために行動をおこす」にのっとり、2015-2017 年のグローバル戦略を発信。達成目標は前回の世界会議で掲げられたものを引き続き掲げていく一方、今期の課題として特に、ガールスカウト活動の質の向上を達成するために成人会員に対する Adult Training Learning and Development の強化、若い



女性の活動を促進する Youth Learning and Program の強化、会員増加の一手段となる新たな会員登録方法の開発と成功例の共有、E-Learning を活用した Capacity Building の実践などが取り上げられました。

↑戦略キーワードを表現したのぼり（左手の青いのぼり）
←戦略キーワードを用いた WAGGGS によるプレゼンテーション

進化し続ける WAGGGS のガバナンス

このたび WAGGGS を公益法人化し、ガバナンスをさらに強化することに決定。新しい定款が承認されました。オプション事項については今後も検討を続けていきます。

その他承認事項として、分担金の新制度導入、アフリカに第 5 のワールドセンターの開設（但し資産にはしない）、また、次回の世界会議参加費について提案の通り同意されると共に、第 36 回世界会議の開催地はチュニジアに決定しました。



↑世界会議の議題に対する投票に使われたボードと電子デバイス



2012 年に始まった stop the violence キャンペーン「少女に対する暴力をなくすキャンペーン」はコラボレーションによりさらに発展します。

日本ではデート DV をなくすキャンペーンに取り組んでいます。



WAGGGS と DOVE の協力で開発された Free Being Me への取り組みが全世界で始まります。この取り組みは自分の身体にもっと自信を持ち、外見にあまりとらわれずに生き生きと活動し、責任感と自信に満ちた世界市民となるための手助けをします。

2016 年までに 350 万人の少女にこのプログラムを届けることを目標にしています。日本でも取り組みを始めます。

ワールドマーケット

今回も株式会社カワキタ様のご協力により、多数のキティちゃんグッズをご提供いただきました。日本連盟の看板娘たちは、はっぴ姿で販売し USD435 の売上を獲得！この売上は今年の日本連盟の分担金に充当する予定です。



AP プレゼンテーション



AP 地域委員長のロウ・リー・ジェンが 2011-14 のレビューと 2015-17 に向けてのプレゼンテーションを実施し、AP 地域委員会の各担当から以下の説明がありました。2020 年にはブータン・ラオス・バヌアツ・インドネシアの加盟を目指すこと、新しい資金調達の方法を開発すること、ガールスカウトの認知度を向上させること、会員増加のためのプロモーションツールの開発に取り組んでいくこと。また、AP 地域内のパートナーシップは、日本+オーストラリア+ミャンマー、香港+モンゴル、フィリピン+バングラデシュ、ニュージーランド+太平洋の島々と発表されました。

講演会と分科会で知識と意識の共有をはかる

女性の問題に取り組む著名人によるスピーチや、分科会が様々行われました。



↑ 途上国の少女の早婚問題を語る
Ms. Mavel Van Orange

→ MDGs における NGO の取組みについて語る Baroness Valerie Amos

→ DOVE のセッションで講師を務めた Ms. Meaghan と 青木青年代表



第35回世界会議 スケジュール

	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日
AM1	ユースのためのイベント	分科会(ユース・ラーニング、第5のワールドセンタ-、分担金、若い女性のためのガバナンス、フェデレーション)	世界連盟理事候補者のプレゼンテーション	各地域ごとのギャザリング	分科会(STV、ボランティアリズム、スピルチュアリティ、i-lead、国際経験)
AM2		世界会議 オリエンテーション	世界会議 議題に関する解説および意見交換	キーノートスピーチ Baroness Valerie Ann Amos 世界連盟理事 投票	スピーチ GSUSA Ms.Ana Maria Chavez スピーチ Ms.Marita Cheng
PM1	ガバナンスに関するセッション	世界会議 議題に関する解説および意見交換	世界会議 議題に関する解説および意見交換	世界連盟理事長によるプレゼンテーション	議題に対する投票
PM2		世界連盟加盟国の承認 キーノートスピーチ Ms.Mabel Van Orange	分科会(ユース・ラーニング、WLDPワークショップ、ジェンダー・イコーリテイ、DOVE)	世界会議 議題に関する解説および意見交換 DOVE企画 解説	
夕方	ユースのためのセッション(浅野会長、パネラーとして参加)	オープニングセレモニー		OLAVE賞 発表	クロージングセレモニー
夕食後				各地域ごとのレセプション	

「ああ、これが世界会議！」

いつも機関誌で見ている世界会議の光景が今、目の前に広がっている!!感動の一瞬でした。世界会議にOB-PS 会員の出席は初めてのことだと聞き、感慨もひと潮の思いが致しました。各国代表の方々は国名の書かれた大きなボードを掲げ、賛否を表示している姿が印象的でした。このようにいろいろが決められていくのだ・・・ 代表者の方々の真剣で熱い思いが会場を包み、ひしひしと伝わってきました。これから3年間の様々なことが話し合われることを思うと、世界会議が一層身近に感じることができました。そして、改めて自分にできることは何だろうか・・・と。香港の蒸し暑さと会場への移動時間の長いのが大変でしたが、このような機会に恵まれましたことを心からうれしく感謝しています。これからより世界に目を向け、できる協力をしたいと考えさせられる貴重な機会となりました。

OB-PS 日本 上條美智子

世界会議に招かれて

世界会議は正加盟連盟、準加盟連盟、準加盟を認証される連盟の代表のみが出席しガールスカウト運動の過去3年間の報告分析をし、これからの3年間に関する運営、活動の指針を決定する重要な会議です。今回世界理事会は、AP地域における少女と若い女性の教育、活動の援助の為に募金をしているFAPWの希望者と世界的規模で募金をして世界連盟へ資金援助をしておられるOB-PSの希望者を開会晩餐会とワールドマーケットの購入者として招くことを決定されました。そのため開催国香港は、FAPWのギャザリングを開き、文化紹介をされながら、メイン行事を世界会議訪問とされました。AP友の会のメンバーの私共は会議の全体像を知ることには至りませんでした。140余国の代表が集まるのは、どんな様子かを垣間見ることができました。これを期に私共の目的をさらに進めるために皆様に伝達しなければならぬと思います。良い機会を頂き有難うございました。

世界会議開催という大仕事だった香港が、同時にギャザリングを開催して下さったことに感服と感謝を申し上げます。

AP友の会日本(FAPW)会長 梶浦昌子



↑AP 友の会のご紹介



←今回世界会議で展示した日本連盟のポスター



↑今回の大イベントを仕切ったインフォメーションデスクのみなさん



↑香港連盟主催のクラフト教室



↑ホテルで日本連盟派遣団を迎えてくださった香港連盟のガールスカウト



↑世界会議に出席した日本連盟派遣団と和田世界理事 左より 青木青年代表、和田世界理事、花岡国際コミッショナー、浅野会長、山岡オブザーバー



↑香港連盟のガールスカウトたちと、ホスピタリティの獅子舞



↑世界会議に出席した日本連盟派遣団と和田世界理事 左より 山岡オブザーバー、浅野会長、花岡国際コミッショナー、和田世界理事、青木青年代表



↑会議は4か国語（英、仏、西、アラビア語）の同時通訳で進められました



↑JAPAN ボードを掲げて、さあ、会議のはじまりです



↑OB-PS 会長のベネディクテ王女(デンマーク)と香港総督、香港連盟理事のみなさん



↑お子さん連れで世界会議に参加してきたスロベニアの代表！

このイヤホンと受信機で同時通訳が聞けます



↑こんな雰囲気の中で会議が進められました

第35回世界会議を終えて～ガールスカウト日本連盟代表団

香港空港直結のホテルを会場に、世界110カ国の国と地域、およそ800名の参加者を得て、第35回世界会議は公式日程を終えました。会期中の様子は随時FBやTwitter等にアップされ、このニュースレターを手にする前に世界会議の情報を得ておられる方も多いのではないのでしょうか。

2020年のビジョン実現に向けて、今後3年間（2015-2017年）の方向性の柱は、会員開発戦略、分担金算出方法の見直し、世界会議参加費の見直し、第5のワールドセンターのあり方、世界連盟公益法人化とそれに伴う定款の改訂です。いずれも昨年開催されたすべての地域会議で基本案が示されており、さらに会期中にテーマ別のセッションを設ける等、加盟連盟とのコミュニケーションを図ろうとする世界理事会の姿勢を強く感じました。

100余年の間、少女と女性の人生に影響を与えてきたガールスカウト・ガールガイド運動です。その価値観を共有できる仲間が世界中にいることを改めて実感した5日間でした。（ガールスカウト日本連盟会長 浅野万里子）

第35回世界会議が中華人民共和国香港特別行政区で行われたことに、より良い世界に変えるための行動を起こそうとしている私たちにとって意味深いものを感じながら、初めての世界会議に臨みました。事前に送られてくる会議の内容詳細や審議される議題についての膨大な書類に目を通し、読み込む作業から世界会議は始まっています。

今回の会議で正加盟連盟にアフリカ・ギニア・カメルーン・AP-クック諸島・モンゴル・ヨーロッパ・アルメニアが承認され、ミャンマーが準加盟連盟として再承認されました。ミャンマーガールガイド連盟の再承認が可決されるその瞬間に立ち会うことができたことは、ミャンマーのリンクカントリーとして、連盟復活に向けたトレーニング支援を行っている日本として、とりわけ長年ミャンマーを支援し続けている大阪府連盟の皆様にとって本当に嬉しい限りのニュースであり、改めて私たち一人ひとりが世界連盟の一員あることを意識した5日間でした。

次回第36回世界会議は、アフリカ地域のチュニジアで開催されることが決定されましたことをニュースレターでお伝えしておきます。（ガールスカウト日本連盟国際コミッショナー 花岡美智子）

「ようこそ！」空港で迎えてくれた香港ガールガイドの笑顔で緊張と不安が一気にほぐれ世界会議に出席できる喜びいっぱい会場に向かいました。外国人と接することはあっても100カ国以上の方が一堂に会する場に遭遇することはそうそうあるものではありません。

肌の色、衣装、匂い、行き交う言語等々まさに五感で「世界」を感じる5日間でした。

i-leadの分科会では、「汗と涙で開発したi-leadをぜひ活用して」と訴えるUK側にアフリカの参加者から「ネット環境は限られている」と意見がでたり、ジェンダーの分科会では、男女が共に活動することが自然という、北欧の現状を知りました。

文化、歴史、慣習、経済事情が異なる国々が「ガールガイド・ガールスカウトに関わっている」という共通項で結ばれ、3年ごとに新しい思いを確認して各国に持ち帰り、それを育ててまた3年後に集まる。世界会議は我々の活動の「心臓」であり、この活動が「運動」であることを強く感じました。（オブザーバー 山岡真己子）

世界連盟の今後の三年間の動き、定款策定、分担金の見直し、世界理事の選挙、正加盟国への承認と再承認の瞬間に立ち会えたことを誇りに思います。

110カ国から453人の参加、電子投票、三カ国語同時通訳、#35WoCoのハッシュタグを用いた積極的なSNSでのリアルタイム情報発信の推奨など、昨年度のAP地域会議とは規模の異なる会議でした。

また、青年代表のFBページで事前交流、会議中の交流、会議前日に行われた青年代表向けのリーダーシッププログラムなどを通じ、ガールスカウトを担っていくのは私たち青年代表なのだと感じました。私たち青年代表が一つとなれば、いずれ大きな影響をガールスカウトにもたらすことができるでしょう。

そして最後にガールスカウトUSA連盟CEOのAnaさんがご両親に向けて言った『私をガールスカウトに入れてくれてありがとう』という言葉。今の私があるのもガールスカウトのお陰です。ガールスカウト世界連盟の一員であると感じることが出来たと同時に、ガールスカウトであることに改めて感謝します。

数々の魅力あるプログラムと素敵な人々との出会いを通じ、もっと上のステップへ進んでいきたいと強く思った世界会議でした。（オブザーバー・青年代表 青木有澄）

この世界会議をつつがなく終えられた香港連盟の組織運営力に感動しました。5日間にわたり、これほど大人数の会議をオーガナイズすることは、とても大変だったと思います。ただ、それを支えたのは同じ使命を共有する仲間だったからこそということも肌で感じ、十分に理解できました。今回、世界会議に出席する機会をいただき、事務局として、これからも日本のガールスカウトのみなさんのお役にたてるよう努めていく気持ちを新たにいたしました。

（事務局 久富成美）

WAGGGS 146加盟連盟・準加盟連盟リスト

【地域別アルファベット順】 * 印は準加盟連盟

アフリカ地域 (32)		アラブ地域 (14)		西半球地域 (35)		ヨーロッパ地域 (39)	
Benin	ベナン	Bahrain	バーレーン	Antigua & Barbuda	アンティグア・バーブーダ	Armenia	アルメニア
Botswana	ボツワナ	Egypt	エジプト	Argentina	アルゼンチン	Austria	オーストリア
Burkina Faso	ブルキナファソ	Jordan	ヨルダン	* Aruba	アルバ	Belarus	ベラルーシ
Burundi	ブルンジ	Kuwait	クウェート	Bahamas	バハマ	Belgium	ベルギー
Cameroon	カメルーン	Lebanon	レバノン	Barbados	バルバドス	Cyprus	キプロス
Central African Republic	中央アフリカ	Libya	リビア	Belize	ベリーズ	Czech Republic	チェコ
Chad	チャド	* Mauritania	モーリタニア	Bolivia	ボリビア	Denmark	デンマーク
Congo	コンゴ	Oman	オマーン	Brazil	ブラジル	Estonia	エストニア
Côte d'Ivoire	コートジボワール	Qatar	カタール	Canada	カナダ	Finland	フィンランド
D R Congo	コンゴ民主共和国	Sudan	スーダン	Chile	チリ	France	フランス
Gambia	ガンビア	* Syrian Arab Rep	シリア	Colombia	コロンビア	* Georgia	グルジア
Ghana	ガーナ	Tunisia	チュニジア	Costa Rica	コスタリカ	Germany	ドイツ
Guinea	ギニア	United Arab Emirates	アラブ首長国連邦	Dominica	ドミニカ	Greece	ギリシャ
Kenya	ケニア	Yemen	イエメン	Dominican Rep	ドミニカ共和国	Hungary	ハンガリー
Lesotho	レソト			Ecuador	エクアドル	Iceland	アイスランド
Liberia	リベリア			El Salvador	エルサルバドル	Ireland	アイルランド
Madagascar	マダガスカル	アジア太平洋地域 (26)		Grenada	グレナダ	Israel	イスラエル
Malawi	マラウイ	Australia	オーストラリア	Guatemala	グアテマラ	Italy	イタリア
Mauritius	モーリシャス	Bangladesh	バングラデシュ	Guyana	ガイアナ	Latvia	ラトビア
Namibia	ナミビア	Brunei	ブルネイ	Haiti	ハイチ	Liechtenstein	リヒテンシュタイン
Nigeria	ナイジェリア	Cambodia	カンボジア	Honduras	ホンジュラス	* Lithuania	リトアニア
Rwanda	ルワンダ	Cook Islands	クック諸島	Jamaica	ジャマイカ	Luxembourg	ルクセンブルグ
Senegal	セネガル	Fiji	フィジー	Mexico	メキシコ	Malta	マルタ
Sierra Leone	シエラレオネ	Hong Kong	香港	Neth Antilles	オランダ領アンティル	Monaco	モナコ
South Africa	南アフリカ	India	インド	* Nicaragua	ニカラグア	Netherlands	オランダ
South Sudan	南スーダン	Japan	日本	Panama	パナマ	Norway	ノルウェー
Swaziland	スワジランド	* Kiribati	キリバス	Paraguay	パラグアイ	Poland	ポーランド
Tanzania	タンザニア	Korea	韓国	Peru	ペルー	Portugal	ポルトガル
Togo	トーゴ	Malaysia	マレーシア	* St Christopher & Nevis	セントクリストファー・ネビス	Romania	ルーマニア
Uganda	ウガンダ	Maldives	モルディブ	St Lucia	セントルシア	Russia	ロシア
Zambia	ザンビア	Mongolia	モンゴル	St Vincent & Grenadines	セントビンセントおよびグレナディーン諸島	* San Marino	サンマリノ
Zimbabwe	ジンバブエ	* Myanmar	ミャンマー	USA	アメリカ	Slovak Republic	スロバキア
		Nepal	ネパール	Venezuela	ベネズエラ	Slovenia	スロベニア
		New Zealand	ニュージーランド			Spain	スペイン
		Pakistan	パキスタン			Sweden	スウェーデン
		Papua New Guinea	パプアニューギニア			Switzerland	スイス
		Philippines	フィリピン			Turkey	トルコ
		Singapore	シンガポール			* Ukraine	ウクライナ
		* Solomon Islands	ソロモン諸島			United Kingdom	イギリス
		Sri Lanka	スリランカ				
		Taiwan	台湾				
		Thailand	タイ				
		* Tonga	トンガ				

(2014年7月現在)